■日時 平成30年8月15日(水) ■天候 晴れ 佐賀県立佐賀北高等学校 通信制 対 クラーク記念国際高等学校 柏 通信制

■球場 府中市民球場 第3試合 1回戦 ■試合時間 2時間47分 ■備考

■審判 球審:大和 塁審:谷川 田島 星

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9				計	安	失
佐賀北•通	西九州・佐賀	0	2	1	2	0	0	2	2	0				9	11	3
クラーク柏・通	千葉	0	0	0	1	1	1	0	0	1				4	5	7

|--|

		4.0	ジショ	٠,			氏	A		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
		小	ンン:	1ノ			仄	10		†J	1寸	女	川 尽		2	3	4	Э	0	/	ð	9				
1	投	遊	=			袁	田		輝	5	0	1	1	遊飛	三失		ニゴ	遊ゴ			四球					
2	遊	投	遊			江	頭	憂	哉	5	1	3	2	四球	三振		中安		投ゴ	左安	遊安					
3						江	越	泰	心	4	2	1	0	遊飛		左2	死球		守妨	四球	<u> </u>					
4	捕					森		裕	輔	5	0	1	0	右飛		四球	遊失		左2	遊ゴ		捕邪				
5	中					佐	藤	真	悟	3	1	1	0		左2	四球	三振		中飛							
5				打	右	城	野	隆	弘	2	0	0	0								三振	ΞŤ				
6	右		投			後	藤	永	次	5	2	1	1		三ゴ	中犠	中飛			遊失	左2	捕邪				
7	左					平	松	直	樹	5	1	0	0		三失	三振		三振		反打	左飛					
8	Ξ					梅	野	賢	斗	4	1	1	0		一安	四球		投ゴ		遊直	左失					
9	$\equiv$		右		中	能	隅	祐	樹	4	1	2	0		三振	投ゴ		中安		三安	四球					
							合	計		42	9	11	4	残	塁 : 15	併	殺:0								 	

#### ■バッテリー

	投	手		
袁	田		輝	
江	頭	憂	哉	
後	藤	永	次	

į	捕手	
森	裕 輔	

## ■投手成績

備考

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
園 田 輝	4	17	2	5	2	1
江 頭 憂 哉	2	11	2	4	2	1
後藤永次	3	15	1	6	5	1

# クラーク柏・通

		ポ	ジショ	ョン	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	遊				神宮司 光 汰	3	1	0	0	遊ゴ		四球		打妨	中飛		三振				
2	=				野島恭之	4	1	1	0	三振		二安		投ゴ		三振		四球			
3	投				斎 藤 千 起	5	1	3	1	三振			左安	右安		ΪΠ 		三安			
4					鈴木啓太	2	0	0	0		三振		遊飛	四球		四球		四球			
5	中	Ш			鹿志村 航 斗	5	0	0	0		遊飛		三失	三振		三振		三振			
6	Ξ	<del>1</del>			辻 博之	4	0	0	1		投失		三振		三振		死球	ΪΠ 			
7	捕				豊田航也	3	1	1	0		П Ц		四球		遊安		四球				
8	右				高橋優介	4	0	0	0			ΞÏ	三ゴ		三振		三振				
9	左				石川皓悦	3	0	0	0			三振		三振	四球		三振				
					合計	33	4	5	2	残	塁:12	併	殺:0								
							·	備	考												

#### ■バッテリー

投手	捕手
斎 藤 千 起	豊 田 航 也

# ■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
斎 藤 千 起	9	51	11	6	8	2

### ■戦評

1回戦府中球場の第3試合は、2年ぶり14回目出場の西九地区代表・佐賀県立佐賀北高校・通信制と初出場のクラーク記念国際高校・柏・通信制の対戦となった。佐賀北は2回先頭の5番佐藤が二塁打を放ち好機を作ると相手のミスが重なり2点を先制する。続く3回6番後藤の懐飛により1点を追加すると4回相手の3失策を逃さず2点を奪い5一0と点差を広げる。対するクラーク記念国際・柏は4回先頭の3番斎藤が安打を放つと隙の無い走塁を見せ三塁まで進み相手のミスにより生還し1点を返す。さらに5回6回にも1点ずつを返し5一3と追い上げる。引き離したい佐賀北は7回1番園田2番江頭の連続適時安打で2点を奪うと8回にも相手のミスから2点を追加する。粘るクラーク記念国際・柏は9回2四球と安打により無死満塁の好機を作るが内野ゴロの間に1点を返すのがやっと。三投手の巧みな継投で終始試合を優位に進めた佐賀北が9ー4で勝利した。一方敗れたクラーク記念国際・柏は7失策に2つのボークと守りのミスが目立ちそれらがことごとく失点につながってしまったのが何とも悔やまれる結果となった。